

# Beyond2020 へ向けた オープンモビリティガイド・プラットフォームの構築

研究代表者：坂村 健

## 研究概要

- ・都市環境での「移動」をオープン方式で支援する「オープンモビリティガイド・プラットフォーム」の構築を目指し…
- ・行政、ボランティア、利用者が協力して、歩行空間のバリア情報を継続的に収集・整備できるシステムを開発する

## オープンモビリティガイド・プラットフォーム

日々変化する歩行空間（歩道など）のバリア情報をどのように集めるか？

API (Application Programming Interface) レベルで他システムと連携できるオープン・プラットフォームを構築することで、多くの人々が協力してバリア情報を継続的に収集・整備する体制を実現する

### 多様な利用者



車椅子の方のための  
バリアフリーナビ

利用者の身体特性に応じた、様々な移動支援サービスの提供  
多様な利用者からのリアルタイムなフィードバックの反映

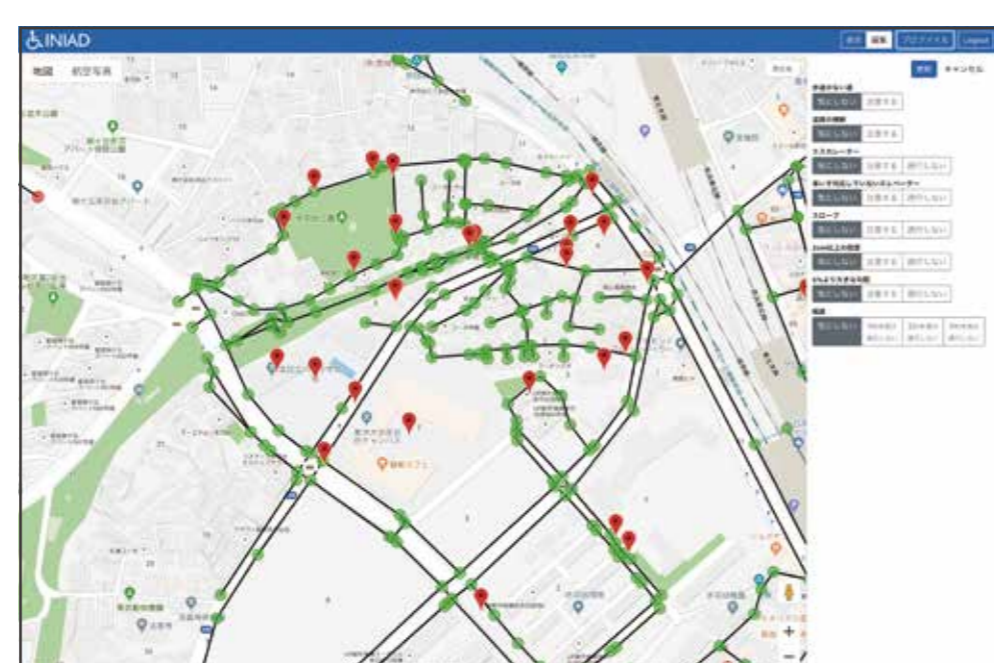


視覚障害者の方のための  
ナビゲーション

## INIAD オープンモビリティガイド・プラットフォーム

### ボランティア・ユーザ

データ整備への協力  
様々なツールの開発・公開



国や自治体が公開する  
オープンデータとの連携

### 国・自治体



## 研究プロジェクト

### INIADバリアフリーマップ作成プロジェクト

- ・ INIADの「ライフワーク」として…
- ・ 北区赤羽台周辺のバリア情報を収集・整備する、INIADの全学生が参加するバリアフリーマップ作成プロジェクト
- ・ 「オープンモビリティガイド・プラットフォーム」のAPIを利用したツールを活用
- ・ 本プロジェクトの成果は、現在構築を進めている「コシル北区」の中で公開予定



### 自動走行車椅子プロジェクト

- ・ 車椅子利用者向けの次世代モビリティとして、自動走行車椅子の研究開発を進行中
- ・ WHILL Model CRをベースに、様々なセンサを搭載し、自律的に障害物を回避する機能の研究開発
- ・ INIADのIoT環境と連携し、照明やエレベータとの連動など、より高度な移動支援機能の研究開発



### 東京公共交通オープンデータチャレンジ

- ・ 公共交通オープンデータ協議会、国土交通省、東京都等とともに、14社局の鉄道事業者、13社局のバス事業者、5社の航空・空港関係事業者がデータを公開する、かつてない規模の交通分野のオープンデータコンテストを開催
- ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、東京でのスムーズな「移動」を実現するためのアプリケーションやアイデアを世界中から広く募集



[tokyochallenge.odpt.org](http://tokyochallenge.odpt.org)

### Beyond2020へ向けて・・・

- ・ 都市環境での「移動」に必要なデータを集約する「オープンモビリティガイド・プラットフォーム」を社会に提供し、訪日外国人や障害者の方を含む、多様な属性の人々の「移動」の円滑化に貢献
- ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、バリアフリーの更なる進展につなげる
- ・ 少子高齢化が予想される日本の社会基盤として発展させ、2020東京オリンピック・パラリンピック以降のレガシーとして残す